



地元では管理会を結成し、桜づつみを守っている



桜づつみ回廊の役割

円山川の堤防沿いに咲き始めた桜
いざという水害時には住民を守る心強い味方となる

円山川沿いに植えられた桜並木。日高町西芝から府市場にかけての円山川左岸沿いには、約1.5キロの桜づつみ回廊が整備されています。これは、国による堤防の補強工事にもない、桜づつみモデル事業の認定を受けて実施されました。他に円山川沿いでは、豊岡市土淵・出石町弘原でも春に桜をみることが出来ます。

西芝地区では補強された堤防に盛土がされ、そこに植えられた花木は約1200本。桜・紅葉・椿・ツツジ・サザンカなど、四季折々の花木を楽しむことができます。また、堤防にはウッドチップを敷き詰めた散策道やあずま屋も設置されていて、散歩やジョギングなどにも活用されています。

地域住民の憩いの場として新たに生まれ変わった円山川の桜づつみ回廊。しかし、桜づつみの役割はそれだけに留まりません。洪水時には、盛土は土のつるを作るために、花木もまた伐採され、水防活動の資材として

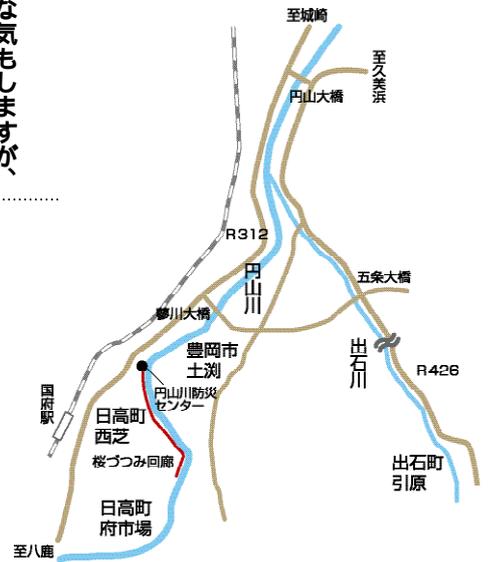
使われるのです。

一見かわいそうな気もしますが、こうした桜づつみのもうひとつの役割は、円山川が歩んできた歴史をひもとけば、理解することが出来ます。

円山川の歴史、それは洪水との戦いについても過言ではありません。多くの恵みをもたらしてきた円山川ですが、ひとたび大水となれば、堤防は切れて濁流が堤外にあふれ、田畑は土砂で埋まり、家や橋は流され、人々は自然の猛威に苦しめられてきました。

記録によれば、江戸時代の260年間、円山川流域が水害を受けない年はなかったといってもよく、周辺住民の一番の心配事は川の氾濫でした。河川改修は住民の悲願だったのです。そして、大正9年から昭和12年にかけて行われた大改修により、円山川の堤防は整備されました。

しかし、昭和34年に起きた伊勢湾台風による水害では、上流部で決壊



する堤防が相次ぎ、円山川流域で1万6833戸が浸水。明治以降最悪の水害となり、住民の不安が消えることはありませんでした。

そのため、100年に1度の洪水を想定して、日高町西芝では平成7年に堤防の補強工事に着手し、堤防は信頼できる強固なものへと変貌を遂げました。

このように、桜づつみ回廊は、安らぎを与えるだけでなく、いざという災害時に、私たちの安全を守ってくれる心強い味方でもあるのです。

周辺住民は桜の管理法を学ぶ講習会を開いたりして、この桜づつみ回廊を10年、20年に渡って、大事に守り育てようと努めています。それは、洪水の恐ろしさを、桜づつみのもうひとつの役割を知っているからなのです。

協力：日高町

国土交通省豊岡河川国道事務所

**あふれる自然と
かわいい動物たち。**

日高町西芝地区
桜づつみ回廊
管理会

但馬牧場公園内に毎年
日高町のスキャンポイント
をまわって5つの文字
を探そう！
全部探すと、ピジュー
ハウスで記念品を
差し上げます！

但馬牧場公園

但馬牧場公園 日高町西芝1033番地
TEL.0769-62-2941 <http://www.butsumayou.com>
スキー・レストラン・牧場体験の手帳・お楽しみ会は
TEL.0769-62-1005

旧国道9号はつづら折りが続く最大の難所だった。冬には積雪で通行不能になることもあり、トンネル工事が急務であった。



現在の蒲生トンネルの様子



蒲生峠

がもうとうげ

【温泉町～鳥取県岩美町】

かつて雪で閉ざされた
国道9号の最大の難所は、
蒲生トンネルとして
新たに生まれ変わり、
人々の交流を支えている



温泉町千谷から鳥取県岩美町へ越す、かつての山陰道・蒲生峠。旧国境にある標高356メートルのこの峠は、但馬と因幡を結ぶ主要街道として数多くの人々が往来しました。古くは戦国時代の羽柴秀吉による因幡攻めも、ここを通過して鳥取に向かいました。

また、明治時代に入り一級国道に指定されると、さらに往来の激しさが増し、峠は最盛期を迎えます。ふもとの千谷には昭和29年まで「つづじ屋」という宿屋があり、現存する昭和初期の宿帳にも当時の賑わいだ様子を偲ぶことができます。

宿泊者の中で特に多かったのは、高山・奈良・岡山から訪れた薬売り商人で、ここで数十泊した後、峠を越えて次の宿場町へと旅立っていったそうです。ほかにも役人や職人、行人など様々な職業の人々が峠を往来して

いました。

また、峠の頂上には茶屋があり、明治25年には旅人の安全を祈願して「延命地藏大菩薩」と台座に記した大きなお地藏さまが祀られました。今は台座を残すのみとなっています。

旧国鉄・山陰本線の開通により、一時人通りが少なくなりましたが、自動車社会の到来とともに道路の改修が行われ、昭和38年に旧国道9号が完成。

流道路として、再び、交通量は増えましたが、道幅は狭いうえ急勾配、急カーブの連続で、ヘアピンカーブは大型車の対向が困難でした。

それに加え、冬には積雪が25メートルに達することもあり、スリップ事故などで交通不能になることもしばしば



かつてお地藏さんがあった台座

地元住民をはじめ、一般ドライバーからも早期改良を望む声の日日に日に高まってきました。そして、昭和53年に念願の蒲生トンネル全長1745メートルが開通しました。国道9号で最大の難所といわれた蒲生峠も、これで安全かつスムーズな走行が可能となり、但馬の幹線道路としての役割を今現在も果たしています。

今も昔も、人・情報・文化の交流を支え続ける蒲生峠。峠の茶屋跡からは古い峠道が鳥取県岩美町側へと下っていて、その辺りには当時の姿を残す石畳も残っています。歴史情緒あふれるこの山路は、これからの季節ハイキングにもおすすめです。

協力：温泉町教育委員会
国土交通省豊岡河川国道事務所

しば

歓迎会プラン

昼食のみ、入浴のみ、日帰り、宿泊もできます。ご相談ください。

あなたの町まで

お迎えに行きます

・15名様以上から、15名様未満の場合は要相談

〒669-6821 兵庫県美方郡温泉町湯

Tel.0796-92-0186・0120-49-0189

http://www.yumuraonsen.com info@yumuraonsen.com

